

財務の概要 (平成24年度)

■ 決算の概況

学校法人東京電機大学の平成24年度決算は、平成25年5月28日開催の評議員会・理事会において承認されました。

平成24年度決算の概要は、予算(平成25年3月23日評議員会・理事会承認第二次補正予算)との比較において次の通りです。

資金収支計算は、
 資金収入 226億8,000万円(予算比 9億4,500万円減)
 資金支出 272億9,200万円(予算比15億1,100万円減)

この結果、次年度繰越支払資金は予算比で5億6,600万円増加し、総額170億8,000万円となりました。

消費収支計算は、
 帰属収入 176億4,000万円(予算比 1億6,300万円減)
 消費支出 177億7,100万円(予算比 1億2,200万円増)
 基本金組入額 45億6,500万円(予算比19億7,300万円減)

となり、帰属収入と消費支出+基本金組入額の差である消費収支差額は予算比で約17億円減少し、46億9,600万円の支出超過となりました。

また、貸借対照表は、平成24年度末(平成25年3月31日)で
 資産の部 1,471億4,800万円
 負債の部 90億5,800万円
 基本金の部 1,308億7,100万円
 消費収支差額の部における翌年度繰越消費収入超過額 72億2,000万円となりました。

■ 平成24年度に学園が優先的に取り組んだ主要事業の経費

(1) 拡充事業(キャンパス整備事業) (単位:千円)

事業内容	経費
キャンパス整備事業	1,723,151
東京千住キャンパス近隣地手付金	950,000
計	2,673,151

(2) 施設改修計画 (単位:千円)

事業内容	経費
キャンパスの施設・設備改修	72,093

■ 財務計算書

次ページから、学校法人会計基準に基づく平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日)の財務計算書を報告いたします。

資金収支計算

資金収支計算書は、学園の1年間の活動状況をお金の動きで示したものです。また、年度末における支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金)も明らかにしています。

収入の部には、授業料等の学費、受験料、補助金(経常費補助金等)、受取利息等の収入や借入金、前受金等の負債となる収入など全ての収入を計上しています。

支出の部には、教職員等に支払う給与、消耗品や光熱水費等の諸経費、建物、機器備品、図書等の購入費など全ての支出を計上しています。

学校法人会計では、本来あるべき年度に収支を計上する発生主義を採っていることから、収入・支出の計上額と実際のお金の出入りに差が生じます。そのため、年度の活動に対応する収入・支出と支払資金残高の整合性を保つための調整勘定が必要となります。

収入の部

科目	年度	H24予算 (第二次補正)	H24決算	差異	H23決算 (参考)
学生生徒等納付金収入		14,191,415	14,202,252	△ 10,837	14,046,880
手数料収入		646,576	664,586	△ 18,010	591,924
寄付金収入		258,000	259,278	△ 1,278	376,664
補助金収入		1,911,406	1,593,430	317,976	2,586,512
資産運用収入		257,907	270,447	△ 12,540	243,450
資産売却収入		1,979,000	1,979,000	0	57,115,709
事業収入		165,427	171,244	△ 5,817	227,501
雑収入		372,586	360,525	12,061	492,777
前受金収入		2,443,273	2,371,528	71,745	2,427,929
その他の収入		3,827,336	3,502,844	324,492	7,679,323
資金収入調整勘定		△ 2,427,929	△ 2,694,972	267,043	△ 3,503,945
前年度繰越支払資金		21,692,012	21,692,012	-	2,028,561
収入の部合計		45,317,009	44,372,174	944,835	84,313,285

支出の部

科目	年度	H24予算 (第二次補正)	H24決算	差異	H23決算 (参考)
人件費支出		8,272,350	8,318,304	△ 45,954	8,574,966
教育研究経費支出		5,093,993	4,623,775	470,218	5,209,912
管理経費支出		1,650,357	1,456,714	193,643	1,183,574
借入金等利息支出		25,664	25,663	1	49,617
借入金等返済支出		500,020	500,220	△ 200	2,600,420
施設関係支出		214,433	492,988	△ 278,555	31,761,159
設備関係支出		1,294,331	729,393	564,938	2,277,450
資産運用支出		7,135,056	7,101,171	33,885	14,304,131
その他の支出		4,778,310	4,538,496	239,814	385,054
資金支出調整勘定		△ 161,356	△ 494,773	333,417	△ 3,725,010
次年度繰越支払資金		16,513,851	17,080,223	△ 566,372	21,692,012
支出の部合計		45,317,009	44,372,174	944,835	84,313,285

■ 予算と決算の差異の主な理由

(1) 収入の部

- ・手数料収入(18,010千円増)
 入学志願者の増加により、入学検定料収入が約16,000千円予算額を上回りました。
- ・補助金収入(317,976千円減)
 国庫補助金の経常費補助金収入は、平成23年度に実施した東京神田キャンパス土地売却に伴う翌年度繰越消費収入超過額増加により調整され、予算額を下回りました。
- ・資産運用収入(12,540千円増)
 円安による外国債の受取利息が予算額に対して約6,700千円の増となり、東京千住キャンパス利用の増加により施設設備利用料が、約5,000千円増となりました。

(2) 支出の部

- ・教育研究経費支出(470,218千円減)
 省CO₂検証・計測機能追加別途工事を教育研究経費支出の委託費より施設関係支出の建物へ振替計上分と、賃借料等をはじめとする全般的な経費節減等により、予算額を下回りました。
- ・管理経費支出(193,643千円減)
 全般的な経費節減、東京千住キャンパス移転に伴う移転後の東京神田キャンパス関連経費や入試広報関連経費等の低減等により、予算額を下回りました。
- ・施設関係支出(278,555千円増)
 省CO₂検証・計測機能追加別途工事を教育研究経費支出の委託費より施設関係支出の建物への振替計上等により、予算額を上回りました。
- ・設備関係支出(564,938千円減)
 東京千住キャンパスの情報インフラ予算の振替等により、予算額を下回りました。

消費収支計算

消費収支計算書は、学園の1年間の諸活動における経営の状況を示したものです。すなわち、教育研究活動等の実施に伴う収入と支出の均衡を明らかにし、学園の経営が健全であるかどうかを示しています。

具体的には、年度内の全ての収入のうち、負債とならない収入（帰属収入）と年度内に発生する費用および資金移動を伴わない減価償却額等（消費支出）+学園を永続的に維持するための資金準備（基本金組入額）とのバランスを示しています。

消費収入の部

科目	年度	H24予算 (第二次補正)	H24決算	差異	H23決算 (参考)
学生生徒等納付金		14,191,415	14,202,252	△ 10,837	14,046,880
手数料		646,576	664,586	△ 18,010	591,924
寄付金		258,000	376,861	△ 118,861	442,378
補助金		1,911,406	1,593,430	317,976	2,586,512
資産運用収入		257,907	270,447	△ 12,540	243,450
資産売却差額		0	944	△ 944	50,788,816
事業収入		165,427	171,244	△ 5,817	227,501
雑収入		372,586	360,525	12,061	492,777
帰属収入合計		17,803,317	17,640,289	163,028	69,420,238
基本金組入額合計		△ 6,537,478	△ 4,564,960	△ 1,972,518	△ 12,048,026
消費収入の部合計		11,265,839	13,075,329	△ 1,809,490	57,372,212

消費支出の部

科目	年度	H24予算 (第二次補正)	H24決算	差異	H23決算 (参考)
人件費		8,193,231	8,221,989	△ 28,758	8,498,473
教育研究経費		7,752,382	7,272,940	479,442	6,919,068
（減価償却額 内数）		(2,658,389)	(2,642,254)	16,135	(1,702,806)
管理経費		1,677,614	1,483,443	194,171	1,224,181
（減価償却額 内数）		(27,257)	(26,729)	528	(40,306)
借入金等利息		25,664	25,663	1	49,617
資産処分差額		0	767,189	△ 767,189	5,147,153
徴収不能額		0	-	0	222
消費支出の部合計		17,648,891	17,771,224	△ 122,333	21,838,714
当年度消費収入超過額		-	-	-	35,533,498
当年度消費支出超過額		6,383,052	4,695,895	-	-
前年度繰越消費収入超過額		-	11,915,604	-	-
前年度繰越消費支出超過額		-	-	-	23,617,894
翌年度繰越消費収支超過額		-	7,219,709	-	11,915,604

■ 予算と決算の差異の主な理由(資金収支計算書と重複する科目は除く)

(1) 基本金組入額(1,972,518千円減)

東京千住キャンパス関連経費の設備関係支出が減少し、設備関係の除却が増加したことにより、基本金組入額が減少しました。

(2) 消費支出(122,333千円増)

教育研究経費および管理経費の全般的な経費削減が実施されたが、設備関係の除却による資産処分差額により消費支出が増加しました。

なお、各基本金の算出内容は次のとおりです。

① 第1号基本金(自己資金による固定資産の取得額)

本年度取得資産額(自己資金による支払分)	1,222,381千円
本年度取得資産額(寄贈分)	68,864千円
本年度取得資産に係る未払金計上額	△206,153千円
前年度取得資産に係る未払金の本年度支払額	2,418,797千円
過年度取得資産に係る借入金返済金額	500,020千円
本年度除却額	△1,567,034千円
	2,436,875千円 ← 基本金組入額

② 第2号基本金(将来の固定資産取得に備えた資金の先行組入額)

本年度組入額	500,000千円
--------	-----------

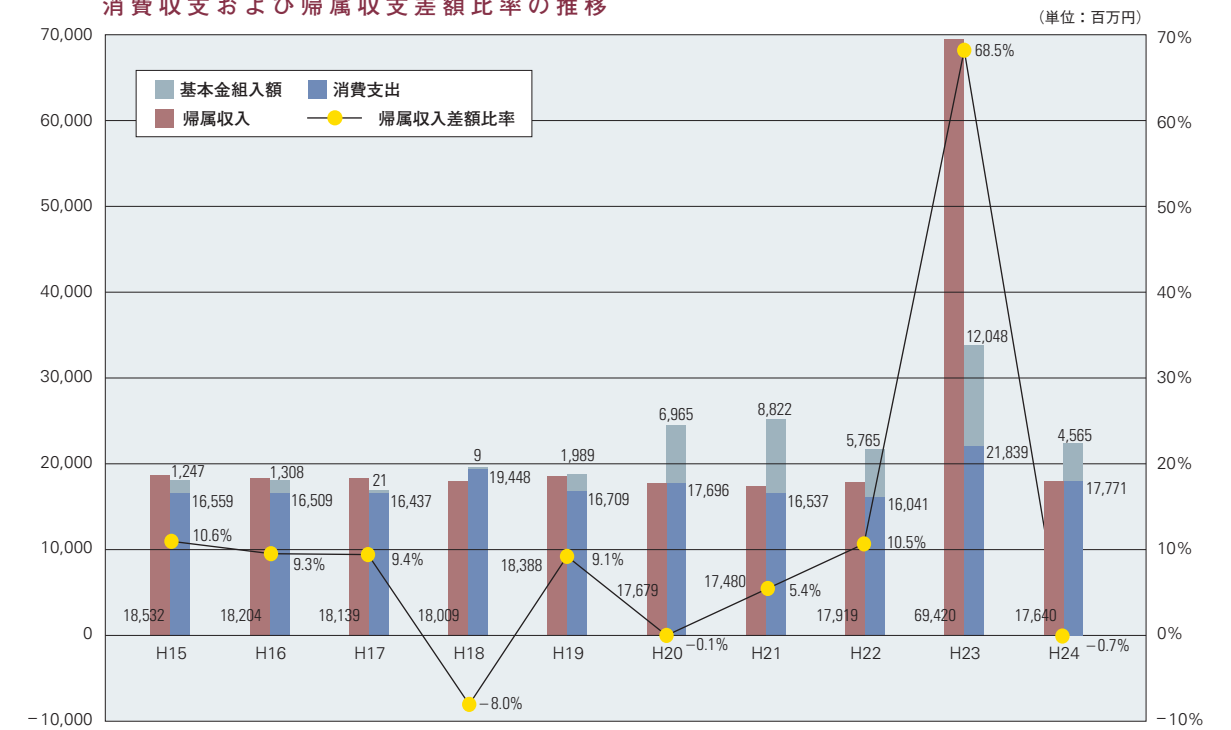
③ 第3号基本金(基金の積立額)

本年度組入額	1,628,085千円
--------	-------------

④ 第4号基本金(恒常的に保持すべき資金、具体的には1ヶ月分の運転資金相当額)

本年度組入なし

消費収支および帰属収支差額比率の推移



※ 帰属収支差額比率…(帰属収入-消費支出)÷帰属収入

この比率が高いほど自己資金は充実されていることとなり、経営に余裕があるものとみなすことができます。一般的に10%以上が望ましいとされています。

(参考) 平成18年度は、時価が簿価(取得額)を著しく下回っていた平岡グラウンドおよび岩殿クラブ室の土地について評価損処理を行ったことにより、多額の資産処分差額が計上され、帰属収支差額比率を大幅に下げることとなりました。

平成23年度は、東京神田キャンパス校地売却による資産売却差額が計上され、帰属収支差額比率を大幅に上げることとなりました。

帰属収入を100とした場合の各科目比率(財務比率)の推移

科目	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	参考(※)
学生生徒等納付金	77.3%	78.7%	77.9%	76.9%	74.9%	78.0%	78.8%	78.8%	20.2%	80.5%	71.6%
手数料	3.1%	2.6%	2.2%	2.3%	2.1%	2.3%	2.7%	2.9%	0.9%	3.8%	3.2%
寄付金	1.1%	0.8%	1.1%	1.0%	1.8%	1.3%	1.9%	1.0%	0.6%	2.1%	3.1%
補助金	11.9%	12.0%	12.7%	12.5%	12.1%	12.0%	10.8%	12.4%	3.7%	9.0%	11.4%
資産運用収入	2.2%	2.7%	3.2%	4.1%	4.4%	3.5%	2.2%	1.8%	0.4%	1.5%	1.8%
事業収入	1.6%	1.3%	1.0%	1.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	0.3%	1.0%	2.2%
その他の収入	2.8%	2.0%	1.8%	2.1%	3.4%	1.7%	2.4%	2.0%	74.0%	2.1%	6.7%
人件費	48.0%	48.5%	46.7%	47.6%	46.5%	46.3%	47.9%	46.0%	12.2%	46.6%	53.5%
教育研究経費	34.4%	35.9%	35.4%	39.9%	36.5%	37.3%	36.3%	35.5%	10.0%	41.2%	31.6%
管理経費	5.2%	5.3%	7.5%	6.9%	6.4%	8.4%	9.0%	6.4%	1.8%	8.4%	7.1%
借入金等利息	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%	0.6%	0.1%	0.1%	0.3%
その他の支出	1.3%	0.6%	0.6%	13.2%	1.1%	7.5%	0.9%	1.1%	7.4%	4.3%	2.6%

※参考 H23理工他複数学部平均(平成24年度版『今日の私学財政』より)

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学園の財政状況を示したものです。

資産の部は、学園が所有する財産を示し、負債・基本金・消費収支差額の部は、財産の調達財源(他人資金でまかなったのか自己資金でまかなったのか)を示します。

自己資金とは、基本金+消費収支差額であり、自己財源で調達した財産の維持状況を金額で示しています。

資産の部

科目	年度	H24末	H23末	増減
固定資産		128,838,951	128,239,605	599,346
有形固定資産		91,841,361	93,985,861	△2,144,500
土地		41,226,643	41,226,644	△1
建物		41,646,561	43,015,762	△1,369,201
構築物		2,023,893	2,123,458	△99,565
教育研究用機器備品		4,289,245	4,401,270	△112,025
その他の機器備品		110,488	82,246	△28,242
図書		2,476,163	3,125,780	△649,617
車輛		68,368	10,701	△57,667
その他の固定資産		36,997,590	34,253,744	2,743,846
有価証券		603,798	561,989	41,809
収益事業元入金		50,000	50,000	0
長期貸付金		329,817	331,048	△1,231
退職給与引当特定資産		1,682,598	1,682,598	0
減価償却引当特定資産		25,179,381	24,310,448	868,933
教育施設設備充実積立特定預金		222,166	222,166	0
校地開発特定預金		769,437	669,437	100,000
委託研究等引当特定預金		217,709	242,323	△24,614
教育機器充実引当特定預金		0	16,000	△16,000
東日本大震災被災学生修学支援引当特定預金		7,497	15,740	△8,243
教育環境整備引当特定預金		2,000,000	1,500,000	500,000
第3号基本金引当特定預金		5,500,000	3,871,915	1,628,085
差入保証金		209,701	554,165	△344,464
電話加入権		10,930	10,931	△1
施設利用権		11,556	11,984	△428
借地権		203,000	203,000	0
流動資産		18,309,518	22,717,044	△4,407,526
現金預金		17,080,224	21,692,012	△4,611,788
未収入金		269,353	1,010,225	△740,872
仮払金		3,135	1,332	△1,803
前払金		950,000	0	950,000
出版局勘定		6,806	13,475	△6,669
資産の部合計		147,148,469	150,956,649	△3,808,180

負債の部

科目	年度	H24末	H23末	増減
固定負債		5,222,591	5,472,875	△250,284
長期借入金		803,210	969,900	△166,690
長期預り保証金		3,660	12,580	△8,920
長期未払金		354,629	332,988	△21,641
退職給与引当金		4,061,092	4,157,407	△96,315
流動負債		3,835,592	7,262,553	△3,426,961
短期借入金		166,690	500,220	△333,530
未払金		473,188	3,493,340	△3,020,152
前受金		2,371,528	2,427,929	△56,401
預り金		824,186	841,064	△16,878
負債の部		9,058,183	12,735,428	△3,677,245
第1号基本金		122,156,577	119,719,702	2,436,875
第2号基本金		2,000,000	1,500,000	500,000
第3号基本金		5,500,000	3,871,915	1,628,085
第4号基本金		1,214,000	1,214,000	0
基本金の部		130,870,577	126,305,617	4,564,960
消費収支差額の部		7,219,709	11,915,604	△4,695,895
負債・基本金・消費収支差額の部合計		147,148,469	150,956,649	△3,808,180

貸借対照表科目の主な増減理由

(1) 資産の部

[有形固定資産(2,144,500千円減)]

東京千住キャンパスの施設・設備の減価償却額および図書等除却が増加したため有形固定資産が減少しました。

[その他の固定資産(2,743,846千円増)]

・第3号基本金引当特定資産(1,628,085千円増)

東京神田キャンパス売却金の一部を第3号基本金に組み入れたため、第3号基本金引当特定資産が増加しました。

・教育環境整備引当特定預金(500,000千円増)

計画に基づき、第2号基本金引当特定資産を積み立てました。

・差入保証金(344,464千円減)

東京神田の小川町新興ビルの保証金回収に伴い、差入保証金が減少しました。

[流動資産(4,407,526千円減)]

・現金預金(4,611,788千円減)

東京千住キャンパス隣接地取得のための手付金支払、第3号基本金組入額や減価償却額の増加に伴う繰入支出等の増加により、現金預金が減少しました。

・未収入金(740,872千円減)

前年度と比べて、住宅・建築物環境対策補助金や退職金財団交付金等未収入金が減ったため、未収入金が減少しました。

・前払金(950,000千円増)

東京千住キャンパス近隣地取得のための手付金支払により、前払金が増加しました。

(2) 負債・基本金・消費収支差額の部

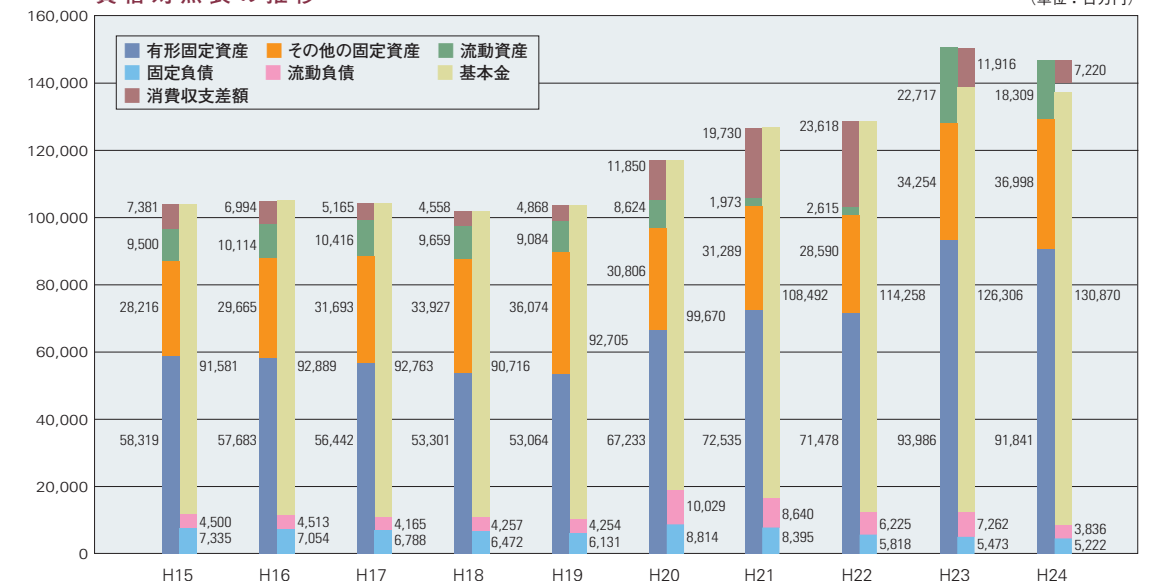
[固定負債(250,284千円減)]

リース会計による長期未払金が増加しましたが、長期借入金のうち1年未満に返済予定の金額を短期へ振り替えたことおよび退職金の支払いに伴い引当金が減少したため、固定負債は減少しました。

[流動負債(3,426,961千円減)]

東京千住キャンパス用地取得費用等の完済に伴い、短期借入金への振り替え額が昨年と比べて減少したことや、前年度の東京千住キャンパス関連経費等の未払金の支払いに伴い、流動負債が減少しました。

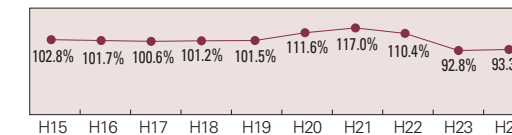
貸借対照表の推移



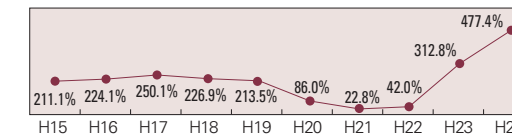
※消費収支差額は、表示場所が棒グラフの左側の場合は支出超過、右側の場合は収入超過を示します。

財務比率の推移

固定比率…固定資産÷自己資金
(この比率は低い値が良い)

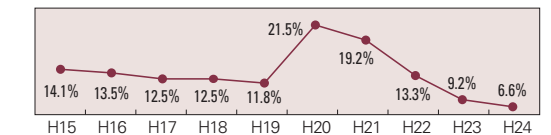


流動比率…流動資産÷流動負債
(この比率は高い値が良い)

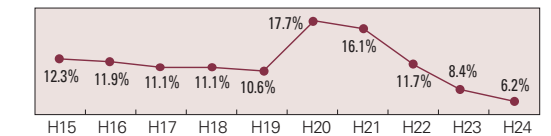


※自己資金=基本金+消費収支差額
総資金=負債+基本金+消費収支差額

負債比率…総負債÷自己資金
(この比率は低い値が良い)



総負債比率…総負債÷総資産
(この比率は低い値が良い)



自己資金構成比率…自己資金÷総資金
(この比率は高い値が良い)

